

女子中高生夏の学校

研究者・技術者、理工系大学生との対話、交流を通して女子中高生が科学・技術の分野に自分の新しい可能性を見いだすことをねらいとした、合宿形式の体験型サイエンスプログラム（あわせて、保護者、教員向け研修も実施）で、独立行政法人国立女性教育会館にて開催されます。

平成29年度女子中高生夏の学校

2017. 8. 6

ポスター展示により技術士の紹介、ロールモデルの紹介、技術系職域の紹介（「技術士って」「技術士の技術部門」「キャリアモデル」）を行った。毎年参加者の雰囲気は異なるが、今年は中学生が多かったせいか、理系ではどのような職域があるかとの質問や、自分の進路が漠然としており、何になるかを考えるヒントを欲しがっている参加者が多かった。展示方法や、ブースを訪問し、質問をした中高生には、キャンディを配るなど、工夫した。

委員会及び女性技術士の会が連続したブースを確保し協力した。



委員会ブースの展示状況



説明風景

平成28年度女子中高生夏の学校

2016. 8. 7

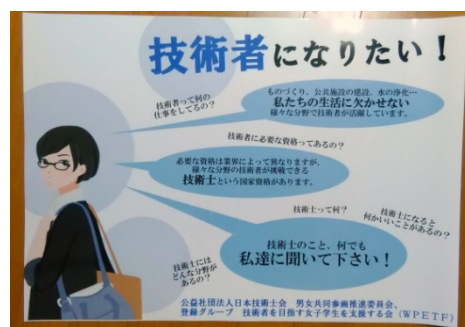
従来のポスター（「技術士って」「技術士の技術部門」「キャリアモデル」）に加え、技術者・研究者への進路選択に関するものも加え、技術者・技術士への流れをもった展示を行った。若手スタッフの発案で「どっちシール」（技術者と研究者）でゲーム要素を取り入れたパネルや、中高生を意識したQ&A集を新たに準備、展示方法にも工夫をし、好評であった。

運営に協力している理系女子大学生（ティーチングアシスタント）や教員へは、技術サロン報告書、月刊PE7月号、委員会チラシを紹介した。

委員会及び女性技術士の会が連続したブースを確保し協力した。



委員会ブースの様子



夏学用新ポスター

平成 27年度女子中高生夏の学校 2015. 8. 7

ポスターは「技術士って」「技術士の技術部門」「キャリアモデル」を展示。技術士資格や技術士がどのようなところで必要とされているかなどを説明。参加者は進学先の選択が目先のことだが、今年は、自分がなりたい職業を明確にしている学生が多かった。

運営に協力している理系女子大学生(ティーチングアシスタント)、教員へは、技術サロンや技術サロン報告書を紹介した。

例年通り委員会及び女性技術士の会が連続したブースを確保し協力した。



委員会ポスターとブースの様子

平成 26年度女子中高生夏の学校 2014. 8. 7

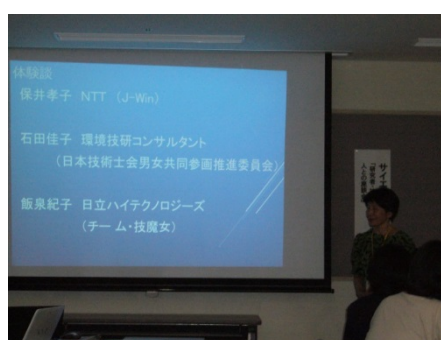
「技術士って」「技術士取得までの道のり」「技術士の技術部門」を展示。中高生、手伝いに参加する TA(理系の女子大学生)、保護者、教員、実施関係者等に説明。技術士に興味を持つ学生、TA、保護者から熱心な質問を受けた。

サイエンスカフェ(保護者との座談会)で委員が小講演を行うとともに、数名の女性技術士が参加し、自身の学生時代の経験を話したり、仕事を継続していくために資格(特に技術士)が役に立つ事をアドバイス。

委員会及び女性技術士の会が連続したブースを確保し協力した。



委員会ブースの様子



サイエンスカフェでの小講演

平成 25年度女子中高生夏の学校 2013. 8. 9

委員会では、広報委員会作成「技術士って、」「技術士取得までの道のり」「技術士の技術部門」。中高生、手伝いに参加する TA(理系の女子大学生)、保護者、教員、実施関係者等に説明。当会は協賛団体。

女性技術士は数が少ないため委員会及び女性技術士の団体が連携して3ブースを確保し、協力して展示、説明を実施した。



委員会ポスター



委員会ブースの様子